

登壇者紹介



ジェラルド・L・カーティス (Gerald L. Curtis)

昭和15年9月18日生

コロンビア大学名誉教授。令和7年4月より東京都公立大学法人国際エグゼクティブアドバイザー及び東京都立大学客員教授。日本政治の研究において世界的に著名な政治学者であり、日米関係の深化に長年貢献してきた「知日派」の第一人者。中曽根康弘氏の紹介で日本の選挙現場を調査し、その経験をもとに執筆した『代議士の誕生』で注目を集める。日本語にも堪能で、竹下登氏、小泉純一郎氏など日本の政治家との深い交流を持つ。平成16年には旭日重光章を受章。

略歴

昭和44年 コロンビア大学 政治学部 助教授
昭和47年 コロンビア大学 政治学部 准教授
昭和49年 コロンビア大学 東アジア研究所長
昭和51年 コロンビア大学 政治学部 教授
平成28年 コロンビア大学 政治学部 名誉教授（現職）

その他現職

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団理事会 会長
ジャパン・ソサエティ 理事
公益財団法人 日本国際交流センター 理事
米日カウンシル 評議員
米外交問題評議会 委員 など

- ・日本の政治、社会、外交、日米関係に関する多数の著書や論文を、英語・日本語で執筆
- ・東京大学、慶応義塾大学、早稲田大学、政策研究大学院大学、王立国際問題研究所（イギリス）、コレージュ・ド・フランス（フランス）、リー・クアンユー公共政策大学院（シンガポール）などで客員教授・客員研究員を歴任